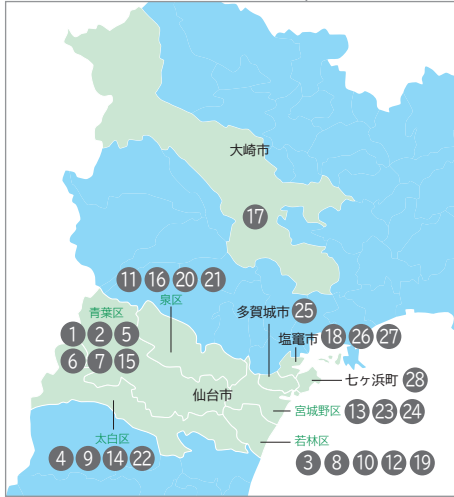


# 店舗紹介

今まさに  
“最も相談しやすい  
地元のしんきん”を  
めざして。



## 中央支店

02



昭和17年に、旧仙台信用金庫営業店として2番目に開設。当時は名掛丁にあり、仙台空襲で焼失するなどの苦難を経て、昭和46年に現在地へ移転。中央支店と名称を変更しました。平成20年には中央支店・新本部ビルでの営業を開始。本部と連携しスピーディ対応の営業に取り組んでいます。



## 本店営業部

01



昭和7年。信用金庫創立時に開設。80余年にわたり「人を大切にする」の原点理念を貫き、官公庁・オフィス街を営業エリアに、金庫の支柱の役割を果たしてきました。

## 連坊小路支店

03



3番目の店舗として昭和19年に開設。宮城県中央信用組合榴ヶ岡支店を譲受して、現在は「むにやむにや通り商店街」の一員として営業しています。

## 長町支店

04



長町は古くは宿場町として、さらに国鉄や地下鉄の開通などで発展。現在は、仙台の副都心としての表情を固めてきた中、一歩踏み込んだ営業に精励しています。

## 宮町支店

05



仙台東照宮の門前町として栄え、商店街として歩む宮町。地元の方々が呼ぶ「御宮町」の一員として、「最も相談しやすい地元のしんきん」を目指しています。

## 北仙台支店

06



青葉神社や北山五山などの神社仏閣が並ぶ北山が間近い、北仙台。開設後60年を越える今、地元の行事に積極的に参加し、住民とのふれあいを大切にしています。

## 八幡町支店

07



八幡町は、大崎八幡宮の門前町として四ツ谷用水などの歴史史跡や新しい教育施設が共存。例大祭参加など地元との親睦を大切に、新たな顧客拡大にも努めています。

## 原町支店(卸町支店内)

08



原町は、インフラ整備とともに農作地から住宅地、近年は東部地域の商業・文化の中心地へと様変わり。平成29年5月に卸町支店内へ移転しました。

## 西多賀営業部

09



東街道や出羽街道の交通要衝地・西多賀に、近くの三神峯公園の開園の年に開設。大型複合施設(モール)などが林立する今、地域密着型営業に努めています。

## 卸町支店

10



卸売業者が集まる商人の町「卸町」の、地下鉄駅前に店舗を構えています。10数店舗の金融機関が競合する中、地元企業とともに成長したいと願っています。

## 南光台支店

11



住宅街を貫く南光台四条通りの商店街に立地しています。地域の明るい未来と発展に貢献する地元の金融機関として、常にプロ意識を持って頑張っています。

## 六郷支店

12



営業エリアは、広瀬川に架かる千代大橋の手前東側から太平洋までの平野一帯です。東日本大震災に被害を受け、復興に励む地元へ貢献しようと尽力しています。

## 高砂支店

13



JR仙石線中野栄駅を中心とした、住宅地域に位置しています。南側は工業地、物流拠点としての整備による発展が期待され、地元を支える活動に力を注いでいます。

## 中田支店

14



最南端の支店として、営業エリアは中田、四郎丸地区から岩沼市、互理町まで広い地域をカバーしています。他金融機関に負けない、「地元の信金」を目指しています。

## 宮城町支店

15



店舗のある愛子地区は交通アクセスが良好で、定義如来、作並温泉などの観光資源も豊富です。営業活動は、「山の旗艦店」として山形県境までをカバーしています。

## 泉中山支店

16



営業エリアは、長命ヶ丘、川平、中山の団地と商業地が混在しています。地元のお役に立ちたいと、明るい店舗づくりときめ細かな営業活動に努めています。

## 古川支店

17



泉質豊富な鳴子温泉郷や米どころ大崎を営業エリアに、北の拠点として活動しています。「親切・丁寧・笑顔」を基本に、お客さま目線を大切にしています。

## 塩竈営業部

18



港湾、水産、観光、門前の機能が充実した塩竈市の、JR本塩釜駅近くに店舗を開設。地元の発展を支え、80年を越える老舗金融機関の底力の発揮へ努めています。

## 七郷支店

19



仙台バイパスの東部地区、荒浜地区までを営業エリアとしています。震災後、地下鉄荒井駅開業を契機に開発が進展。今後も地元の支援に貢献していきます。

## 黒松駅前支店

20



営業エリアは、歴史のある黒松・旭ヶ丘の住宅団地です。地元の住民の方々とのコミュニケーションを大切に、存在感のある店舗づくりに力を入れています。

## 泉中央支店

21



泉中央は、商業施設が集約し、「イズミティー21」はじめ文化・スポーツ施設が充実。平成23年に現在地へ新築移転し、地域ナンバーワンを目指しています。

## 西中田支店

22



名取川の南、柳生地区に位置し、営業活動は仙台の西南部から名取・岩沼方面までをカバー。「最も相談しやすい地元のしんきん」を目指し、日々活動しています。

## 岩切支店

23



店舗のある岩切地区は、東は多賀城市、北は利府町に隣接。近年は再開発などによる宅地化が進み、人口が増加する中、訪問営業を通して地元へ貢献しています。

## 福田町支店

24



JR仙石線福田町駅の南に位置し、裏手の七北田川は美しい景観が望めます。震災被害にあわれた地元のお客さまとの絆を深めて、支える営業に尽力しています。

## 多賀城支店

25



国の史跡に指定されている多賀城跡などのある史都・多賀城に店舗を構えています。津波被害を受けた地元の復興を支援し、地域ナンバーワンを目指しています。

## 玉川支店

26



歌枕「野田の玉川」として詠まれた塩竈市玉川に位置し、店内に東屋を設けくつろぎ感を演出。お客さまにご満足いただける、最良のサービスをお届けするよう努めています。

## 北支店

27



前身は塩釜魚市場内の出張所で、昭和45年に支店へ昇格。管轄する北浜、藤倉地区は津波被害を受け、街に「明るさと元気」が戻る力となるよう尽力しています。

## 七ヶ浜支店

28



七ヶ浜は三方が海で囲まれ、面積13.27km<sup>2</sup>と東北で一番小さい町です。町の約30%が震災津波の被害を受け、復興とさらなる発展へ役立つ活動に力を入れています。